



農業委員会だより

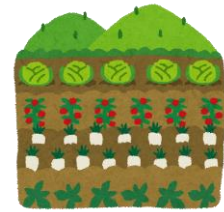
平成30年1月
第17号
編集・発行
八丈町農業委員会
TEL 2-1125

～農業委員会の役割について～

- ①農地などの権利移動（売買・贈与など）の許可
- ②農地などの転用許可に対する意見およびその進達
- ③農地の効率的な利用の促進に関すること
- ④法人化その他農業経営の合理化に関すること

八丈における「農地」とは、地目が「畑」「田」「牧場」となっている土地となります。

※ 農地転用（農地の形状を農地以外のものへ変える行為）と、農地の権利移動（売買・贈与や賃貸借など）については、農地法等に基づき許可や承認が必要となりますので、事前に農業委員会事務局（八丈町産業観光課内）へご相談ください。



【農地法】 第三条 自分の農地を農地のまま他人に譲渡又は賃貸借※する。

※賃貸借については現在、別法で貸借設定することを勧めております。

第四条 自分の農地を転用（宅地等）する。

第五条 自分の農地を他人に譲渡し転用（宅地等）する。

農業委員・農地利用最適化推進委員

【三 根地区】

浅 沼 寛(農)
浅 沼 博 之(農)
青 木 保 憲(農)
浅 沼 大二郎(農)
奥 山 利 平(推)
浅 沼 隆 章(推)

【大賀郷地区】

菊 池 國 仁(農)
菊 池 寛(農)
菊 池 勝 男(農)
奥 山 完 己(農)
菊 池 睦 男(推)
加 藤 純 生(推)

【榎 立地区】

磯 崎 正(農)
伊勢崎 武 二(農)
笹 本 守 彦(推)

【中之郷地区】

山 下 馨(農)
菊 池 家 司(農)
大 澤 正 雄(推)

【末 吉地区】

沖 山 慶 孝(農)
沖 山 宗 春(農)
浅 沼 孝 教(推)

あけましておめでとうございます。
農地の事で何かございましたら相談ください
(農)＝農業委員 (推)＝農地利用最適化推進委員

八丈町からのお願い

農業統計調査にご協力を！

八丈町産業観光課産業係では、毎年農家を対象に、農作物の作付面積や生産量、栽培品目、今後の農業経営の意向等について調査を実施しています。

昨年までは調査員が訪問していましたが、今年は調査票を郵送いたしますので、回答用紙へご記入いただき、同封の返信用封筒にて、ご返送いただきますようお願いいたします。なお、回答がなかった場合には、後日調査員が訪問することもありますこと、あらかじめご了承ください。

とりまとめられた統計データは、八丈町の農業生産の実態把握や各種政策のための基礎資料とし、次のものなどに活用されています。（※個人の調査が目的ではなく、八丈町全体の統計数値を基礎データとして活用しています。）

- 東京都農産物生産状況調査（東京都産業労働局農林水産部）
 - 東京都の地域・区市町村別農業指標（東京都農業会議）
 - 事業概要（東京都八丈支庁）
 - 農林水産省及び関東農政局の各種統計数値
- 趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

○問合せ先

八丈町 産業観光課 産業係
電話04996(2) 1125
担当者 大宮



石灰質資材の利用について（土壌管理）

最近、アシタバの葉柄が収穫時にぼきぼきと簡単に折れてしまうような症状が報告されています。土壌の状態をみますと、石灰が著しく不足しており、欠乏による症状ではと懸念されています。石灰（カルシウム）は肥料の3要素ではありませんが、常に多量に必要とされ、作物体を強くする働きなどがあります。作物体内で移動しにくいいため、生育の全期間に供給する必要があります。適正に管理された土壌中には十分な量があるため、普段あまり肥料として意識されないことが多い養分です。

○ 土壌の実態

ところが、八丈島で主要農産物を中心に行った調査結果をみますと、土壌中の石灰量が診断基準値に達している地点がどの作物でも少ないです（表2 レザーファンを除く）。この状態は1990年以降の複数回の調査結果と比べてもあまり大きく変化しておらず、慢性的に石灰が不足気味となっています。また施設に比べ露地で少ない傾向にあり、降雨による流亡も懸念されます。

● 適切な管理に向けて

石灰不足の対策には、①石灰質資材を施用する、②葉面散布を行う、があります。石灰質資材（表1）は通常、土壌の酸性改良を目的に施されます。植え付け前に十分土となじませることが好ましく、2週間以上前に施用します。露地では降雨の影響もあるため、苦土石灰で年間100g/m²程度は維持管理のために施すことが望ましいです。また、鶏ふんや牛ふんなどの家畜ふん堆肥も石灰を十分含んでいますので、石灰の補給に効果的で、同時にその他の土壌改良効果も期待できます。

作期が複数年と長い作物ですと石灰の追肥も必要になります。足りない場合、50～80g/m²程度、水に溶けやすい硫酸石灰（石こう）や消石灰、生石灰などを水に溶いて株間に施用します。葉面散布では、塩化カルシウム0.3～0.5%液か第1リン酸カルシウム0.3%液を新しい葉にかかるように数回行います。

土壌は目に見えない部分が多く、判断に迷うことも多いかと思えます。毎年、普及指導センターで行われる土壌診断などを上手に活用して、個々の土壌状態を定期的に把握し、適切な管理を心がけましょう。

表1 土壌中の石灰量の分布(2015年8月)

石灰量※1	露地 アシタバ	露地 その他	施設 (レザーファン以外)
0～200	8	6	8
200～400	1	7	19
400～600 (適正域※2)	0	0	5
600以上	0	0	1
計	9	13	33

※1: 交換性石灰(mg/100g)、

※2: レザーファン以外の土壌診断基準値

表2 石灰資材の種類と効き目

種類	アルカリ分	反応の強さ	施肥量の目安 g/m ²
生石灰	80%以上	つよく 障害が 起きやすい	60
消石灰	60%以上		75
炭カル	53%以上	↑ ↓	100
苦土石灰	53%以上		100
貝化石	40～45%	ゆるやかで 障害が 起きにくい	120
カキガラ	40%		120

島しょ農林水産総合センター八丈事業所園芸振興担当 TEL2-0042(直) 普及指導センター TEL2-3158(直)
八丈支庁産業課農務担当 TEL 2-4514(直)

第67回関東東海花の展覧会



毎年表題の展覧会が開催されておりますが、本年は東京都当番回につき八丈の花材も多数利用される予定です。機会が合う方は、是非ともご観覧にお立ち寄りください。

【場所】 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD

【日時】 2月2日(金) 12:00～18:00

2月3日(土) 10:00～18:00

2月4日(日) 10:00～12:30



農業委員会だより編集委員

沖山 慶孝 山下 譽 浅沼 博之 青木 保憲 奥山 完己